



# さくほ 議会だより



バラ



祖父母参観 おじいちゃん、おばあちゃんに贈りたい この元気

6月定例会のあらまし .....	2P
平成24年度 補正予算 .....	3P
一般質問（5人が町政を質す） .....	4P～
第3回臨時議会 請願・陳情 .....	7P
委員会活動から .....	8P
委員会合同視察 .....	9P
しらかば .....	10P

平成24年7月26日

**第29号**

発行：佐久穂町議会  
議長 今井 邦三  
編集：議会広報編集調査特別委員会  
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場  
〒384-0697  
長野県南佐久郡佐久穂町  
大字高野町569  
TEL 0267-86-2525  
FAX 0267-86-4935

# 平成24年

# 6月定例会

## 定例会のあらまし・町の動きなど

初夏の風と朝夕の寒さ、梅雨入り近い6月5日から第4回定例会が、6月18日までの日程で開催されました。

町長は招集あいさつで町の動きなどについて報告。

健康福祉事業の一環として、グループホーム「ほほえみ」が4月1日に開所し、定員7名のうち4名の入所が、ほぼ決定ということです。

佐久穂町地域福祉計画及び老人福祉計画、そして第5期介護保険事業計画が作成され、冊子が各戸へ配布されました。

千曲市にある長野県歴史館において、7月16日

まで「長野県の満州移民―三つの大日向をたどる」と題した資料の展示、講演会などの開催の紹介がされました。

佐久穂町総合計画は、平成19年に策定され、28年度までの基本構想と、23年度までの前期基本計画、今年度から28年度までの、後期基本計画から

成っています。

今回わかりやすく改定した計画書が作成されました。

千曲病院では、今年3月坂口副院長が退職され、後任に老健施設長の小高医師が副院長に就任しました。又、新たに内科に山崎拓医師が着任し、人間ドックと内科外来を担当されます。

人間ドックについては、終了時間を午後2時30分から2時とするよう時間を短縮し、利用しやすいよう改善されました。

統合小中学校建設事業は、グラウンド整備がほぼ完了し、本体工事に着手します。

平成23年度の一般会計及び特別会計が、5月末に出納閉鎖となりました。一般会計で3億4,080万円の剰余金、病院事業会計を除く9つの特別会計の合計で2,800万円余りの剰余金が出ました。詳しくは、9月議会で決算の認定審査がされます。

## 条例

### 佐久穂町税条例の改正

町たばこ税の引き上げ、町民税均等割の引き上げなど。

### 佐久穂町国民健康保険税条例の改正

国保税を一人平均9,900円引き上げることなど。

### 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

家庭用可燃ゴミ袋のサイズを、大小2種類にする改正。

### 健康診査料徴収条例の改正

人間ドックの受診料の引き下げをする改正。

### 福祉医療費給付金条例の改正

身障者3級の方の福祉医療費の給付金を、県要綱に合わせる改正。

## 決算の認定

平成23年度病院事業会計の決算についての認定。

## 承認

税条例の改正、平成23年度の一般会計及び特別会計の最終補正について、町長の専決（議会の議決を経ずに決定すること）の事後承認。

## 補正予算

平成24年度一般会計、国民健康保険特別会計、病院事業会計などの補正予算。一般会計予算の補正は、青年就農給付金事業、地域の

生活センターの改修補助金などです。

国保会計の補正は、一般会計からの借入金金の減などによるものです。

## 請負契約

統合小中学校整備事業の校舎及び体育館の建設工事の請負契約の締結。

## 請願・陳情

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願。

住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの充実を求める陳情など、3件が提出されました。

## 一般質問

5人の議員から、町施設の運営、健康管理、千曲病院の経営、道路行政、職員の定数管理などについての質問が出され、町の方針などを質しました。



6月定例会

# 平成24年度補正予算

一般会計…2,149万2千円減額  
総額85億2,850万8千円に

## 一般会計

歳入・歳出予算それぞれ2,149万2千円を減額し、85億2,850万8千円とするもので、慎重審議の結果、可決されました。

歳入は、  
県補助金、1,561万1千円。

繰越金、1,507万8千円。貸付金元利収入、5,218万1千円の減額。

受託事業収入、150万5千円。

歳出は、

議会費、4万2千円の減額。

総務費、487万2千円、

民生費、114万3千円の減額。

衛生費、510万9千円、

農林水産費、915万7千円、

商工費、72万9千円、

土木費、247万7千円の減額。

教育費、293万3千円、

諸支出金、4,063万円の減額。

今定例会の減額補正は、

国民健康保険特別会計への貸付金4,300万円減額が最大であり、減額の内訳は、国保会計見なおしによる貸付金の減額、人事異動による人件費減がほとんどを占めます。

## 特別会計

国民健康保険特別会計、5,474万2千円の減額。

農業集落排水事業、老人保健施設特別会計、索道事業特別会計、病院事業会計の4会計の補正の増減は無く、

会計内で予備費等で調整しており、人事移動、人事院勧告による給与の調整であり、審議の結果、全議案可決されました。



# 千曲病院会計

## 平成23年度決算

平成23年度、千曲病院決算報告が、監査委員よりありました。

最終損益は、平成22年度とほぼ同額でした。

病院の目標である「地域の人達に信頼され、愛される病院」づくりにも、更に努力された点の指摘がありました。

平成23年度、備品購入として、自動錠剤分包機が導入されました。

なお、平成24年4月1日より、内科医一名が増員されました。

審議の結果、付帯意見を付けて認定されました。

## 病院事業の経営改善を図るための付帯意見

病院事業会計の純損失を減らし、公立病院としての役割を遺憾なく発揮するために、

町の手厚い財政支援が必要と、委員会として意見を付しました。



自動錠剤分包機

- 1、病院事業会計への繰出し基準を国の基準と同等に見直すこと。
- 2、病院があることで、措置されている普通交付税と特別交付税の内、特別交付税分を通常繰出し金とは別に繰出すこと。



# スクールバス運行者の年齢制限が必要では

町長

## 年齢制限は必要と考えます 協議・検討していきます

高見澤 春 野



奥村土牛記念美術館

**美術館職員のあり方**

**問** 学芸員を置かないのはなぜか。

**美術館長** 奥村家との契約であり、あくまでもアマチュアリズムを貫徹するためです。

**問** 職員の知識向上を図る取り組みは。

**美術館長** マニュアル（来館者への対応説明・展示方法・服装・清掃管理など）を作成し対応しています。近隣美術館研修も考えます。

**問** アイデア・意見を取り入れる体質になっているか。

**美術館長** 今年4月から全員で打ち合わせ会議を開き、出された意見・提案は実施に向け検討します。

**問** 職員の勤務状況の把握はされているのか。

**美術館長** 勤務シフト表で一ヶ月の状況を把握し、問題が生じたときは、館長の責任で対応しています。

### スクールバスに関して

**問** 委託契約の厳格化が必要ではないか。

**教育長** NPOと捉えているので、代表者のみの契約で良いと考えます。

**問** 服務規程が必要では。

**教育長** 協議していきます。

**問** 運行担当者の年齢制限を設け、他との整合性を図るべきでは。

**教育長** 必要です。協議していきます。

# 一般質問

## 道路の建設・改良・維持管理のあり方は

町長

### 経済効果など必要性を確認し 事業化していきます

岡部 学



**町長** 南部広域農道は、農業基盤整備のため、農産物輸送の効率化、働きやすい生産基盤づくりなどを地域一体で実施するため、整備をすすめてきました。今後の農業経営への大きな役割を期待しています。

**問** 今年4月から中学1・2年の体育授業で武道が必修化されたが、柔道では、死亡事故が他のスポーツと比べ大変多い。子どもの安全対策について、どのような対応がされているか。

**問** 国・地方とも財政が厳しくなる中、道路の開設・改良には、利用の見込み、経済効果、地元要望など多面的な検討が必要ではないか。

**町長** 幹線道路の開設や改良は、計画交通量、歩行者の安全、災害時の避難路など、計画道路の果たす経済効果や、必要性が認められなければ事業化できません。

**問** 一例として、南部広域農道佐久穂・佐久市切原間の開通はどのように検討されたのか。



南部広域農道切原方面

**教育委員長** 新しい指導要領により、武道とダンスも必修化されました。

武道については、施設の整備、職員の研修等に努めていますが、引き続き事故防止に十分な配慮をしていきたいと思っております。

# 胃がん予防に「ピロリ菌」検査が必要と考えるが

## 町長 町健康づくり推進協議会で導入を検討

岡部 勝一



各種ワクチン接種について

問 ヒブワクチン等、定期接種は継続するか。

問 胃がん予防に「ピロリ菌」の節目検診が必要では。

町長 国の動向により、対処していきます。

町長 町健康づくり推進協議会で、検討します。

問 小児まひ（ポリオ）予防に、不活化ワクチンが導入されるが、注意点は。

町長 長野県主催の説明会を参照します。

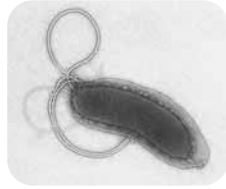
福祉課長 多目的コホート研究で無料実施します。

問 難解医療用語の、説明等が必要ではないか。

町長 広報誌等へは、解説を付けています。

自主財源は

問 自主財源確保の為、ミニ公募債も必要と考える。



ピロリ菌

町長 普通建設事業については、一財源として検討していきたい。

防災会議は

問 女性及び子ども防災会議等が必要になるが。

町長 女性の視点は、必要です。登用も考慮します。

問 防災教育について。

教育長 町独自の教育科目はありません。

問 長野県、平成24年度実践的防災教育総合支援事業がありますが、掌握されていますか。

教育長 新事業が入ったということだけです。

# 千曲病院の繰越欠損金に対する考えは

## 経営努力を一層推進し、黒字化をはかるが状況によっては減資もあり得る

町長

井出 和 廣



問 千曲病院繰越欠損金処理は、どのように考えているのか。

町長 法改正により、経営判断により議会の決議を経て、資本金を減少させることが出来ることとなったが、病院の永続性を考え資本は減少したくないが、場合によって資本の減少もありうると思います。

問 一般会計からの病院への、繰入金増額はできないか。

町長 現在定められている負担率について、社会情勢や、病院の経営状況等注視し、必要に応じ病院と協議し、見直し等行います。

問 在宅医療、訪問看護ステーションの今後の考え、進むべき方向は。

町長 連携体制整備に向け、地元医師の医師とも協議しています。また、在宅医療を積極的に進めるため、在宅医療の調整担当者が必要なことから、人的資源の充実も含め検討しています。

町税、諸施設料金徴収向上対策について

問 町税、諸施設料金等滞納管理一元化による回収を考えては。

町長 徴収すべき債権により、その賦課徴収根拠、強制徴収の方法、時効期間が異なるので、一元化管理し徴収を行うには、相当の人員と専門的知識が必要となるため、賦課した部門において徴収すべきものと考えます。

問 OB職員による徴収を考えてはどうか。

町長 現状の管理で成果が上がらないときは、適任者を滞納整理を専門に行う嘱託職員として雇用することも、検討しなければと考えています。



千曲病院

# 一般質問

## 公共施設の使用料金格差をなくしては

町長

使用目的により、公平な料金とした

井出清嗣



管理のためにも、年齢構成の適正化を図るべきだ。

問 八千穂福祉センターや茂来館を、政党・宗教団体が利用する場合、3倍の料金格差をなくすべきだ。

町長 利用の目的が、営利、政治、宗教活動の利用ができませんが、法に抵触しない範囲で、一般住民から見ると公平な料金としています。

問 町として、今後の支援計画は。

佐久総合病院医療センターへの財政支援

町長 採用人数は、退職者の半分に抑制しているので、あと数年若年層職員の割合が低い状態が続きます。

問 町として、今後の支援計画は。

町長 利用の目的が、営利、政治、宗教活動の利用ができませんが、法に抵触しない範囲で、一般住民から見ると公平な料金としています。

### 高齢職員の比率が高い

問 職員給与の平均額は、567万円と、郡下で最高です。原因は、高齢職員の比率が高いためと思われるが、将来を見据えた人事

総務課長 建設事業費22.5億円のうち、佐久広域連合と佐久市の負担分20億円を人口案分すると、町は1億296万円の支援計画です。

### 新火葬場建設

問 佐久市内に建設が予定されている、火葬場の進捗状況は。

町長 佐久市と斎場建設候補地の区長との覚書調印が済みしました。広域の市町村も利用できます。その場合豊里苑は廃止となります。



やちほ構造改善センター

総

括

質

疑



問 農林水産業費の県補助金、青年就農給付金事業の対象者は。

答 経営開始型と準備型があり、経営開始型は、町主体の事業で、農業を始めてから経営が安定するまでの方で、原則として45歳未満で、定められた要件を満たしている方が対象です。準備型については、県主体事業で、農業技術の研修中に給付金を給付します。

問 国民健康保険税の引き上げを内容とする条例の制定について、必要な理由は。

答 平成20年度に制度改正があり、それ以降毎年度赤字になっており、不足分を2億円以上あった基金を取り崩し、収支のバランスを取ってきたが、基金が400万円まで減少し、さらに一般会計より借り入れており、国保会計が円滑に運用するために、国保税を10%上げるものです。

問 特定健診について、当初見込みと、1年間の実績は。

答 生活習慣病を予防するために、医療保険に義務づけられた制度です。平成23年度の実績は、国保連で集計ができておりませんが、平成22年度が1037人で、40.6%でした。平成23年度の健康委託料が伸びていますので、受診率も上昇していると期待しています。

# 平成24年 第3回 臨時議会



統合小中学校グラウンド

平成24年第3回臨時議会が4月17日に開かれました。議案は3件でした。

● 第一期基盤造成工事の契約変更

● 第一期グラウンド整備工事の請負契約の締結

● 教育委員会委員の任命

● 全員賛成で全議案原案可決しました。

## 一部事務組合 議会報告

佐久広域  
連合

平成24年  
第1回定例会

● 専決処分承認1件、条例改正3件、補正予算6件、24年度予算6件、その他2件、追加1件が提出され、一般質問、議案質疑、委員会付託後委員長報告、質疑討論、採決が行われ、会議案原案可決しました。

● 選挙管理委員会委員及び補充員の選任  
委員4人、補充員3人を選任しました。

南佐久環境  
衛生組合

平成24年  
第1回臨時会

● 請負契約の締結について  
小海町の衛生センターを解体、撤去する工事の請負契約を締結するものです。原案可決しました。

## 請願★陳情

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める  
請願書  
佐久穂町教職員組合  
代表 菊池 弥

義務教育の無償、教育案件の全国一律にする国の債務を果たすために求めるもの。

● 義務教育費国庫負担率を2/3にすること。  
● 国庫負担金から除外された教材費、旅費を復元すること。

● 新教職員定数改善計画と教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書  
佐久穂町教職員組合  
代表 菊池 弥

● 国の責任において、教職員定数改善計画の着実な実現を求めるもの。  
● 小学校2、3年生の25人学級を実現するため標準定数法を改正すること。  
● 学校現場に必要な教育予算の大幅増額を行うこと。

● 「住民の安全、安心を支える公務、公共サービスの体制、機能の充実を求める意見書」提出に関する陳情  
長野県国家公務員労働組合  
共闘会議  
議長 戸澤 一雄

● 地方における国が果たす役割の放棄を止めることを求めるもの。  
● 憲法25条の安全保障を実現するために、国と地方の共同を強めるとともに公務、公共サービスの体制機能の充実をはかること。

● 国の「アクションプラン」や「独立行政法人の事務事業の見直しの方針」を見直し、防災対策などの住民の安全、安心を確保するために必要な国の出先機関や独立行政法人の体制、機能の充実をはかること。  
● 長野県内の国の出先機関と独立行政法人の体制、機能の充実をはかること。

賛成多数(採択)  
賛成多数(採択)

# 活動から

## 総務文教常任委員会

### 統合小中学校整備事業 国民健康保険税条例改正など審査

**国民健康保険税条例は  
意見を付して全員賛成**

国民健康保険税は、昨年度20%、今年度の改正案では約10%の引き上げを行うものです。

国保加入者は、年齢構成が高く、他の医療保険加入者に比較し所得が低く、今後大幅な所得の伸びが見込めない中で、国庫負担率の引き上げがされないならば、負担が急激に増加することになります。

国保加入者は、年齢構成が高く、他の医療保険加入者に比較し所得が低く、今後大幅な所得の伸びが見込めない中で、国庫負担率の引き上げがされないならば、負担が急激に増加することになります。

**統合小中学校整備事業業**

平成24年5月16日、一般競争入札の結果、新津・畑八・堀内特定建設工事共同企業体が39億9,000万円（消費税含む）で落札契約となりました。

第2、第3期校舎棟、体育館棟です。工期は平成26年12月28日までです。全員賛成しました。



統合小中学校校舎・体育館  
安全祈願

**新規就農者への  
支援事業が始まる**

「人と農地の問題」の解決に向けて、これから農業を始めたい青年や、新たに人を雇いたいと考えている方へ支援する事業です。

**青年就農給付金**

農業を始めて間もない時期に給付金が給付されます。

給付額年間150万円。経営が安定するまでの方で次の要件を満たしていること。

- ① 原則として45歳未満で独立、自営就農する方
- ② 就農する市町村の「人、農地プラン」に位置づけられている方
- ③ 就農後の総所得が250万円未満の方

1,575万円が計上され、確実な事業となることを望み全員賛成しました。

## 経済福祉常任委員会



求められる就農支援策



# 委員会

## 委員会合同視察

津波の爪跡

宮城県女川町

災害拠点病院坂総合病院

宮城県塩竈市

海水に浸かった水田

宮城県仙台平野

県内初小・中一貫校開校

長野県信濃町



宮城県被災地  
を訪問

千年に一度といわれる、昨年3月11日の大震災を直接見ることで、町の防災に生かそうと、今回の視察が行われました。

6月20日から22日までの3日間、宮城県女川町、石巻市、塩竈市、名取市周辺を回り、また震災に直接遭われた方々のお話や、懸命の救助活動の様子も伺うことができ、意義深い研修ができたと思います。

病院・福祉施設は  
助かるー女川町

今回の視察では、航空写真や測量を業務としている朝日航洋(株)のスタッフの皆さんに、各地を案内していただきました。高速で石巻市まで行き、旧北上川の河口付近に入ると、一面土

台だけのサラ地となっていて、あちこちにガレキが山になっていました。道路は復旧されていますが、道路以外は地盤沈下で至る所水



浸してした。最大で1.2mの沈下ということです。

牡鹿半島のつけ根の女川町では、町中心部が津波で壊滅、一万人近い人口の約一割の人が犠牲となりました。何もなくなった港の中で横倒しの四階ビルだけが残っていました。高台を削って作った病院、社協などの入る建物は、唯一残った公共施設です。ここが助かってほんとうによかったと思います。

不眠不休の救助活動ー坂総合病院



2日目、塩竈市の坂総合病院を訪れました。

ここは宮城県に15箇所ある災害拠点病院の一つで、孤立した被災地で当日から救急患者を受け入れ、人命を守る上で大きな役割を果

たした病院です。

医師74名、357床の堅病院ですが、地域医療100年の歴史を持ち、住民に信頼されています。自家発電、井戸水で対応、燃料も7日間しかない中24時間体制で診療、一日200人の急患を受入れました。

このような活動ができたのは、①災害を想定した訓練。②民医連を通じての全国的な支援。③医療への志の高さ。などであったと思います。

復旧はこれからー何も無い仙台平野

テレビの映像の生々しい名取市から、仙台空港周辺は一面の水田地帯ですが、海水をかぶったままの状態で放置されています。沈下した地盤は？と今後の復旧の大変さが実感されました。



小中一貫校を視察ー信濃町

視察3日目に、この4月に開校した、信濃町立信濃小中学校に寄りました。

子ども達への配慮から、内部は見せてもらえませんが、設計した(株)エーシーエより説明をいただきました。当町の小中学校においても、りっぱに完成させていたたくよう要請しました。



常に災害に備えをー必ず来ると思っています

今回の視察で、地盤が最大で5.3mずれたと聞きました。日本列島が大きく動き出した今、どこでも大災害に備えていく必要があると思います。

# さくいびと？

三島 ちづ代



三十年余り住んだ家を処分し、夫と二人で猫一匹をお供に、この町の住民となつてまもなく三年。

「三」という数字は日本人好みであるようだ。「石の上にも三年」「三年目の浮気」というのもある。私にとって晴耕雨読の三年間は長い旅に出て

いるような新鮮な日々であった。地面が凍

みる冬には少々驚いたが、初めて実感した

「山笑う」の光景。この土地に住んで良かったの思い

は、次第に強くなっている。先の「三」の付く諺に当てはまることもなく、有り難いことである。

何の血縁も無くここに移住した私達に、大抵は「こんな寒い所のどこが良く来たのか」と不思議な面持

ち。外から入るとその長所の数々が良く分るのに。

何と言っても一番の魅力は人が暖かい事。特に旧八千穂村は、若月医師による集団健診の歴史も手伝つて



我が家の歴代ペットたち

た。地域医療関係者の言葉。住民の方々にもその自負がありこれは暮らしてみても大いに頷ける。子供から人生の大先輩までとても親切でチャームिंगな方々揃いである。

ところで、この地域には「さくい」という方言があるが私の生まれた土地では、「頼りない」、「出来が悪い」といったマイナスイメージが強かった。むしろこれが少数派らしく、信州を含め全国的に「気さくな」あつさりした」という良い意味での使い方が多いようである。

江戸初期には「活発でテキパキしている」とさらに好意的な意味合いであった模様。私のような、新規に佐久地域の住民になった者にふさわしい呼称はないものかと考えていたところ、響きが似ている「ほかいびと」から「さくいびと」という造語を思いついた。

移住後、お陰様で趣味の一つ銭太鼓を通じて仲間の輪が広がりがつつある。銭太鼓の一振りは、観て下さる方に一年分の幸せをもたらすとされ、これを合言葉に施設慰問などの活動を続けている。

佐久に定住して何事にも「さくい」姿勢で臨み、先ではこの土地の土となる、そんな「さくいびと」を目指したいと思うこの頃である。

## 閉会中の議員活動 3月～5月 (主なもの)

- 3月
  - 小・中学校卒業式
  - 保育園卒園式
  - 佐久広域連合定例会
  - 広報編集調査特別委員会
- 4月
  - 保育園入園式
  - 小・中学校入学式
  - ツールドハケ岳
  - 交通安全運動人波作戦
  - 南佐久郡議長会定例会
  - メルヘン街道開通式
- 5月
  - 商工会総会
  - 南佐久環境衛生組合 議会臨時会
  - 佐久病院病院祭
  - シルバー人材センター 総会
  - 議会運営委員会
  - 千曲病院経営審議会
  - 交通安全協会総会

次回定例会は、9月上旬に予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

### 編集後記



数年前の議員研修で、ある小さな県の知事をされた先生が「政治家も官僚も、国のことで誰も責任をとらない」と話されました。米百俵の話をして、日本の経済と国民の暮らしをブツ壊した総理もいます。「原発の再稼働は私の責任で判断します」と全く無責任なことを言つて再稼働させた総理もいます。今、この国に求められているのは、言ったことに責任をとれる人なのでは。